

Mpol a mpola なムベンデ便り

NO. 4

青年海外協力隊 平成 26 年度第 4 次隊 氏名:佐藤結香 職種:医療機器 派遣国:ウガンダ

ウガンダに来て 9 ヶ月が過ぎた。少し早い活動の中間地点として、1 月に首都カンパラで活動の中間報告会を行った。2 月にはウガンダ大統領選挙が控えており安全意識を今まで以上に高めている。今回の「Mpol a mpola なムベンデ便り NO. 4」では、体重計の故障?!、病院に珍客?!、病院での一コマを紹介する。

①活動

体重計の故障?!

OPD と呼ばれる一般外来からデジタル体重計の修理依頼が来た。エンジニアと一緒に OPD へ向かい詳しい話を聞くことに。赤ちゃんの体重が 8 kg と表示されたらしい。生後約 1 か月半の赤ちゃん、見た目からも 8 kg あるとは思えず、体重計が故障していると考え修理依頼をしてきたということ。その赤ちゃんに違う体重計を使用して測ってみると約 3.6 kg と表示された。

早速問題の体重計をチェックしてみるが、特に異常なし。試しに 500 g の点滴パックを計測してみたが、特に異常なし。OPD スタッフの使用方法も問題なし。エンジニアと二人で頭をかしげながら体重計をいじってみると、「あれ?!もしかしてこれじゃないか?」と思われるものを発見!!それがこの写真。



よく見てみると「lbs」と「lbs:oz」と表示されている。

この表示、実は重さの単位「ポンド(パウンド)」の記号。lb はラテン語で「バランス、天秤」を意味する「Libra(リブラ)」からきており、複数形の s がついて「lbs」と表示されている。「oz」は「オンス」でこちらも重さの単位。

1 ポンド=約 453g なので、8 ポンド=約 3624g となり故障はしていなかった!!

国によって使用される単位は様々であり、エンジニアにとってこのような単位はとても大切。私にとっても良い勉強になった。

スタッフの「体重計はkg表示」という思い込みが生んだ今回の件。私自身も思い込みで勘違いするこ

とはある。何事も確認することの大切さを改めて実感した。その後は OPD スタッフも使用前に単位を確認して使用しているようで嬉しかった。

壊れていない医療機器が、ちょっとした勘違いで壊れていると言って修理依頼に出されることがよくある。このようなことをできるだけ減らし医療機器を有効に活用できるよう、これからも活動していきたい。

※ちなみに私もウガンダに来てから

「あれ？この体重計は壊れているんじゃないか？」
と思うことがある。しかし体重計の問題ではなく、私の体重が増えているのが問題らしい（笑）。

問題が解決した後に
なぜかいろいろと計測しだした同僚⇒



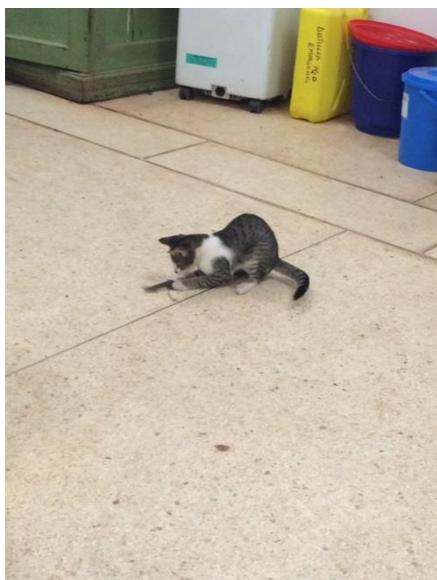
②珍客来院？！

院内ラウンドで救急外来を訪問した時のこと。私の横を何かが物凄いスピードで駆け抜けていった。後を追ってみるとそこには何と……猫！！

日本だったらちょっとした問題になりそうだが、ここはウガンダ。スタッフはいつも通り働き、患者さんは気にせず治療を受けていた。私の猫に対する反応のほうに彼らにとっては面白かったらしく笑われてしまった。

「Yuka！そんなに騒いで日本には猫もいないのか？」という質問も。

「いるけど院内に野良猫はいないよ！いたらTVで報道されちゃうよ！！」と答えておいた（笑）。



ヤモリを追いかける猫

③とある日の病院で

配属先の病院には canteen と呼ばれる小さな売店とレストランがある。患者さんやその家族、病院スタッフがよく利用している。水や炭酸ジュース※、サモサやチャパティ、パンやビスケット、ウガ飯(ウガンダのローカルご飯のこと)を購入できる。

※体調が悪い時、炭酸ジュースを飲むと回復するという伝統療法?! を信じているウガンダ人もいる。

その canteen でチャパティ作りを体験させてもらった。素手で熱い鉄板の上に生地を広げていくのだが、熱くて上手くいかない。Canteen のお兄ちゃんには「まだまだだなー。お嫁にいけないぞ」と言われ、何だかショック。日本に帰るまでに一人前のチャパティ職人として腕を磨かなくては!! 笑



見本を見せてくれるスタッフのお兄ちゃ



真似してトライするが鉄板が熱くて…苦